



努力した者に敗者はいない

守・破・離の離

26日、全国高校総体（インターハイ）の中止が決定してしまいました……。

3年生のみなさんが、今どんな気持ちでいるのかを想像すると、私も胸が張り裂けそうになります。

全国大会出場を目指していた人、初戦突破を目指していた人、自己ベスト更新を目指していた人……。目標は違っても、最後の大会に向けて君たちがどのような気持ちで取り組んでいたかは痛いほどわかるつもりです。

正直なところ、君たちになんて声をかけたらいいのかわかりません。どんな言葉を送っても、君たちの傷は癒えないかもしれません。それでも、君たちに伝えたいと思います。

管理当番の先生よりも早く学校に着き、毎日朝練をがんばった君。

帰りのSHRが終わったら全力で部室まで走って準備した君。

選手のために、選手以上に努力してくれたマネージャーの君。

顧問の先生に毎日叱られながらも、歯を食いしばって練習に参加した君。

休校期間中も勉強の合間にトレーニングも欠かさなかった君。

君たちのそういう姿を、私たち教員はずっと見守ってきました。

だからこそ、どういう形であれ、そんな君たちを最後の舞台に立たせてあげたかった。

悔しい気持ち、やるせない思い、そういう思いでいることを私たち教員は理解しているということは知っておいてください。

最後の舞台に立てなかったとはいえ、「一緒にがんばった仲間」、「応援して下さった家族」「指導してくれた先生」・・・すべてが財産です。そのことを忘れないでください。そして今後の人生でも、きっと君たちを支えてくれる存在となります。

そして何より、入学した頃と比べて、確実に君たちは成長している。それが部活動のおかげである部分も非常に大きいですね。最後の大会はなくても、この2年間の努力は消えることはありません。

私が好きな言葉に「やがて人生の勝利者となれ」という言葉があります。どんな競技でも、負けないチーム（選手）はいません。高校野球でも、4000校近い学校が優勝旗を目指し、その栄冠をつかめるのはわずか1校しかありません。それ以外のチームは必ず敗れ去ります。

しかし、私の経験上、勝つことよりも負けた経験、挫折した経験から学ぶことの方が大きい。負けや挫折の味を知っているからこそ、強くなれるし、人に優しくなれます。そういう意味で言えば、努力した者に敗者はいません。今後の人生で、本物の勝利をつかんでください。

私たち中津高校の教員は、最後まで君たちをサポートしていきます。卒業まで、また一緒にがんばろう！

文責：3年学年主任 西山

※今回は「全国高校総体中止」のニュースがありましたので、運動部のみなさんに向けての内容となりましたが、もちろん文化部のみなさんにも同じ気持ちでいます。